

三朝をなんとかしよう会

～ゆるやかなつながりから生まれる取組み～



取組みの経緯

三朝町では、地域包括支援センター（町直営）主催のケアマネ連絡会があり、町内事業所全てが参加しています。その中で、徘徊ネットワークへの取組の必要性や地域で支える支援の重要性、事業所間の連携、情報交換の必要性、事業所間の職員交流など町内の事業所がつながりをつくり、連携していくことが意識されるようになり、平成26年に町内事業所情報交換会が始まりました。

その後、事業所が連携して三朝町のための具体的な取組をしようということになり、平成27年に「三朝をなんとかしよう会」を発足し、職員の交流と資質向上や三朝町の地域福祉への貢献を目的に活動しています。

○活動データ

- ・実施回数：適宜
- ・取組みに関わる法人等：
町内4法人、地域包括支援センター
- ・取組みに関わる主な経費：
報酬、需用費、賃借料、役務費

取組み内容

○職員の交流と資質向上

町内関係者（治療院や三朝温泉病院）を講師に迎え、高齢者向けの動作や体操などの勉強会や講演会を開き、お互いに学び合っています。

また、介護に関する映画を医療機関や民生委員など関係者とともに視聴し、知識の共有を図っています。

さらに新年会などで職員の交流促進を図っています。

○三朝町の地域福祉への貢献

「三朝町徘徊安心ネット」を作り、行方不明者発生時に事業所間の情報共有や送迎等業務中の搜索協力を行い、早期発見を目指しています。

また、秋の交通安全期間に合わせて職員が会のポロシャツを着用し、街頭であいさつ運動を行っています。

さらに、大雪になりボランティアセンターだけでは雪かき等に対応できないときには、臨時の雪かき隊を編成します。

取組みの成果や課題

○成果

- ・ 職員のつながりが生まれ、担当者レベルでの情報共有、連携が図りやすくなっています。

○課題

- ・ 職員のつながりを活かして、地域課題への更なる取組が必要だと考えています。
- ・ コロナで集合型の勉強会、交流会が実施できない状況です。

活動者コメント

三朝をなんとかしよう会は、町内の福祉関係事業所を中心に平成27年頃から本格的な活動を開始しました。

当初は地域の事業所の情報交換や勉強会を中心に、メンバーの交流会や行方不明の高齢者が発生した場合に情報共有をして、早期発見に繋げるネットワーク作りをしました

その後、病院や民生委員さんにも参加して頂ける機会を設けたり、小さな地域貢献活動にも取り組んでいます。

コロナウイルスの事も思うように活動出来ていませんし、まだまだ活動内容についても模索中な部分も多いですが、同じ地域でそれぞれの社会福祉ではなく、1つの社会福祉として支え合えるネットワークが出来た事はとても心強く感じています。

(社会福祉法人愛恵会 徳田和秀 「三朝をなんとかしよう会」世話人)

社会福祉法人 三朝町社会福祉協議会

本部所在地／鳥取県東伯郡三朝町横手 50-4

電話番号／0858-43-3388

FAX 番号／0858-43-3378

法人HP／<http://www.misasa-syakyo.or.jp/>

他に実施している公益的取組み：

生計困難者に対する相談支援事業

